

EUにおける「グリーンリカバリー」の動向

—「コロナ後」の復興と欧州グリーンディール—

堀尾健太

電力中央研究所 社会経済研究所

作成日 (2020年9月3日)

要約:

欧州連合 (EU) は、長年気候変動対策に積極的であるが、緑の党の躍進が注目された 2019 年 5 月の欧州議会選挙などを経て、現在、気候変動の政治的な優先順位が非常に高い。特に注目されているのが、2019 年 12 月に欧州委員会が公表した政策文書「欧州グリーンディール」である。この文書は、気候変動対策を中核とした包括的な政策パッケージであるが、従来の気候変動対策の射程 (温室効果ガスの排出削減など) を超え、経済や社会に関する様々な政策領域を包含していることが特徴である。新型コロナウイルス感染症の影響により、この文書で打ち出された施策の実施は、当初の予定よりも後ろ倒しされる見込みであるが、一方で、「コロナ後」の復興の文脈においても、欧州グリーンディールの重要性が強調されている (「グリーンリカバリー」とも呼ばれている)。

2020 年 5 月 27 日、欧州委員会は、「コロナ後」の復興のための基金 Next Generation EU の提案を公表した。この提案は、通常の EU 予算とは別に 7500 億ユーロを市場から調達し、EU を通じて分配するというものである。この提案の中でも「欧州グリーンディールは EU の成長戦略」であると明記されており、クリーンエネルギー技術への投資、建物やインフラの改修、運輸やロジスティクスのクリーン化、公正な移行基金の増額などが含まれている。また、調達した資金の返済のための財源の候補として、排出量取引制度 (ETS) のオークション収入や国境炭素調整メカニズムなどが言及されている。

7 月 21 日、欧州理事会は復興基金の創設に合意した。基金の総額は原案と変わらないが、加盟国から EU への返済義務のある融資の割合が増加した。また、基金の「少なくとも 30%」を気候変動関連に割り当てることも合意された。今後は、EU から加盟国に資金を分配する際の条件や基準などが注目される。

免責事項

本ディスカッションペーパー中、意見にかかる部分は筆者のものであり、電力中央研究所又はその他機関の見解を示すものではない。

Disclaimer

The views expressed in this paper are solely those of the author(s), and do not necessarily reflect the views of CRIEPI or other organizations.

お知らせ

本資料は、著者が2020年6月12日に発表した同タイトルのペーパーを、2020年7月21日の欧州理事会の合意を踏まえて更新したものである。主な変更点は以下の通り。

- ・欧州理事会の合意（本文17頁）を追加
- ・今後の注目点（本文18頁）の表現を修正

上記に加えて、その他の記述についても表現の統一等の微修正を行った。



EUにおける「グリーンリカバリー」の動向 — 「コロナ後」の復興と欧州グリーンディール—

電力中央研究所 社会経済研究所

主任研究員 堀尾健太

2020年9月3日

 電力中央研究所

背景

欧州連合（EU）は、長年気候変動対策に積極的であるが、緑の党の躍進が注目された2019年5月の欧州議会選挙などを経て、現在、気候変動の政治的な優先順位が非常に高い

特に注目されているのが、2019年12月に欧州委員会が公表した政策文書「**欧州グリーンディール**」である。この文書は、気候変動対策を中核とした包括的な政策パッケージであるが、従来の気候変動対策の射程（温室効果ガスの排出削減など）を超え、経済や社会に関する様々な政策領域を包含していることが特徴である

新型コロナウイルス感染症の影響により、この文書で打ち出された施策の実施は、当初の予定よりも後ろ倒しされる見込みであるが、一方で、「**コロナ後**」の復興の文脈においても、**欧州グリーンディールの重要性が強調されている**

目的

EUにおける「グリーンリカバリー」の動向を明らかにするために、2020年5月27日に公表された欧州委員会の**復興基金案**において、**欧州グリーンディールの要素がどのように考慮されているのか**を分析する

「コロナ後」の復興において、気候変動対策などの環境の側面に配慮をすることは、一般に、「グリーンリカバリー」と呼ばれている

「グリーンリカバリー」という言葉には厳密かつ共通の定義は存在しないが、本ディスカッションペーパーでは、復興のための景気刺激策に限定して使用する

目次

1. 欧州グリーンディールとは
2. 「コロナ後」の復興と欧州グリーンディール

1. 欧州グリーンディールとは

欧州グリーンディールの概要

2019年12月11日、欧州委員会は「欧州グリーンディール」 (The European Green Deal) と題する政策文書を公表

- フォンデアライエン委員長は、2019年7月16日に示した「政治指針」にて、新たな欧州委員会の発足後100日以内に策定することを宣言
(実際は発足後11日で公表、ただし、発足自体が1か月遅れている)
- 位置づけは「**新たな成長戦略**」
- 個々の政策手段については必ずしも深掘りされていないが、**従来の気候変動対策の射程（温室効果ガスの排出削減等）を超え、経済や社会に関する様々な政策領域を包含していることが特徴**

European Commission, European Green Deal

https://ec.europa.eu/info/strategy/priorities-2019-2024/european-green-deal_en

欧州グリーンディールの構成

- **気候変動** (Climate Action) 緑字は概要を後述
- **エネルギー** (Clean, affordable and secure energy)
- **産業** (Industrial strategy for a clean and circular economy)
- **運輸** (Sustainable and smart mobility)
- **農業** (Greening the Common Agricultural Policy / 'Farm to Fork' Strategy)
- **生物多様性** (Preserving and protecting biodiversity)
- **環境汚染対策** (Towards a zero-pollution ambition for a toxic free environment)
- **全てのEU 政策におけるサステナビリティの主流化**
(Mainstreaming sustainability in all EU policies)
- **対外政策** (The EU as a global leader)
- **欧州気候協定** (Working together – a European Climate Pact)

欧州グリーンディールの主要要素①

気候変動

- **2050年の気候中立目標**を含む欧州気候法の提案
- GHG削減の**2030年目標**を少なくとも50%削減に**引き上げ**、責任のある形で55%削減を目指すための包括的なプラン
- **排出量取引制度（ETS）指令**や非ETS セクターの排出削減目標の割当に関する規則（**Effort Sharing規則**）など、関連法規の改正の提案
- **エネルギー税指令**の改正案
- **国境炭素調整メカニズム**に関する提案
- 気候変動への**適応に関する新たなEU 戦略**

欧州グリーンディールの主要要素②

全てのEU 政策におけるサステナビリティの主流化

- **公正な移行メカニズム**（公正な移行基金を含む）と持続可能な欧州投資計画の提案
- **サステナブルファイナンス**に関する戦略の更新
- **非財務情報開示**指令のレビュー
- 加盟国及びEU における**グリーン財政**の評価とベンチマークに関する取組
- **国家補助**に関するガイドラインのレビュー
- 欧州委員会による**新たな取組の全て**をグリーンディールの目的と整合させる
- 欧州グリーンディールの**実現の効率性を低下させる法制**の特定・改善

【参考】 欧州委員会の2020年作業計画（5/27更新）

コロナの影響により、欧州グリーンディールの実施は、当初の計画よりも後ろ倒し

 A European Green Deal			
1.	The European Green Deal	Communication on the European Green Deal (non-legislative, Q4 2019); European Climate Law enshrining the 2050 climate neutrality objective (legislative, Article 192(1) TFEU, Q1 2020); The European Climate Pact (non-legislative, Q3 2020)	 adopted  adopted  Q4 2020
2.	Financing the sustainable transition	European Green Deal Investment Plan (non-legislative, Q1 2020); Just Transition Fund (legislative, Article 175 TFEU, Q1 2020); Renewed Sustainable Finance Strategy (non-legislative, Q3 2020); Review of the Non-Financial Reporting Directive (legislative, incl. impact assessment, Article 114 TFEU, Q4 2020)	 adopted  adopted  Q4 2020  Q1 2021
3.	Commission contribution to COP26 in Glasgow	2030 Climate Target Plan (non-legislative, incl. impact assessment, Q3 2020); New EU Strategy on Adaptation to Climate Change (non-legislative, Q4 2020); New EU Forest Strategy (non-legislative, Q4 2020)	 Q3 2020  Q1 2021  Q1 2021
4.	Sustainability of food systems	'Farm to Fork' Strategy (non-legislative, Q1 2020)	 adopted
5.	Decarbonising energy	Strategy for smart sector integration (non-legislative, Q2 2020); Renovation wave (non-legislative, Q3 2020); Offshore renewable energy (non-legislative, Q4 2020)	 Q2 2020  Q3 2020  Q4 2020
6.	Sustainable production and consumption	New Circular Economy Action Plan (non-legislative, Q1 2020); Empowering the consumer for the green transition (legislative, incl. impact assessment, Article 114 TFEU, Q4 2020)	 adopted  Q2 2021
7.	Protecting our environment	EU Biodiversity Strategy for 2030 (non-legislative, Q1 2020); 8th Environmental Action Programme (legislative, Article 192(3) TFEU, Q2 2020); Chemicals strategy for sustainability (non-legislative, Q3 2020)	 adopted  Q4 2020  Q3 2020
8.	Sustainable and smart mobility	Strategy for sustainable and smart mobility (non-legislative, Q4 2020); ReFuelEU Aviation - Sustainable Aviation Fuels (legislative, incl. impact assessment, Article 100(2) TFEU and/or Article 192(1) TFEU, Q4 2020); FuelEU Maritime - Green European Maritime Space (legislative, incl. impact assessment, Article 100(2) TFEU and/or Article 192(1) TFEU, Q4 2020)	 Q4 2020  Q4 2020  Q4 2020

-  Adopted
-  Delayed
-  As planned
-  Accelerated

European Commission, 2020 Commission Work Programme

https://ec.europa.eu/info/publications/2020-commission-work-programme-key-documents_en

2. 「コロナ後」の復興と 欧州グリーンディール

「コロナ後」の復興に関するロードマップ

3月26日、欧州理事会メンバーによる共同声明

EU2首脳（欧州委員会委員長、欧州理事会議長）に対し、復興に関するロードマップ及びアクションプランの策定を招請

グリーントランジションやデジタルトランスフォーメーション、危機からの教訓などを組み入れるべきと明記

4月23日、EU2首脳が「ロードマップ」を公表

“A ROADMAP FOR RECOVERY - Towards a more resilient, sustainable and fair Europe”

復興の原則を示す（連帯・結束、柔軟性、包摂、価値・権利の維持）とともに、グリーントランジションとデジタルトランスフォーメーションが復興において中心的な役割を果たすと明記

Joint statement of the members of the European Council, 26 March 2020

<https://www.consilium.europa.eu/media/43076/26-vc-euco-statement-en.pdf>

A ROADMAP FOR RECOVERY - Towards a more resilient, sustainable and fair Europe

<https://www.consilium.europa.eu/media/43384/roadmap-for-recovery-final-21-04-2020.pdf>

復興基金Next Generation EUの提案

5月27日、欧州委員会は復興基金Next Generation EUを提案

- **7500億ユーロ**を市場から調達し、EUを通じて分配
 - 同日に再提案された7か年予算（MFF2021-2027、1.1兆ユーロ）と別建て
 - 5000億ユーロを補助金、2500億ユーロを融資
 - 2028年から2058年までに返済（そのための財源の候補として、ETSのオークション収入、国境炭素調整メカニズム、デジタル税等に言及）
- **3つの柱**
 - **加盟国に対する支援** ※これが大部分
 - 民間投資の促進
 - 危機からの教訓（保健プログラムの新設など）
- 「**欧州グリーンディールはEUの成長戦略**」と明記

European Commission, Europe's moment: Repair and prepare for the next generation

https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_20_940

フォンデアライエン委員長の発言

5月13日 欧州議会での演説（復興基金の骨子の説明）

- 復興のための投資は負債の増加という対価を支払って行うもの
- 次の世代に負債を残すのであれば、少なくとも、**気候変動対策などの将来のための投資に使うべき**
- コロナウィルスに対するワクチンは早晚開発できるかもしれないが、**気候変動にはワクチンはない**

5月27日 欧州議会での演説（復興基金の提案）

- 共同の復興（collective recovery）、共通の将来（common future）に投資すべき
- Next Generation EUは、**欧州グリーンディールを強化**する
- 今日の危機を乗り越えるための連帯を示すだけでなく、将来に向けた、世代を超える協定（a new Generational Pact for tomorrow）

5月13日：https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/speech_20_877

5月27日：https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/speech_20_941

復興基金案に含まれる欧州グリーンディールの要素

基金の用途

- クリーンエネルギー技術への投資
(再エネ、省エネ、クリーン水素、蓄電池、CCSなど)
- 建物やインフラの改修
- 運輸やロジスティクスのクリーン化
(100万か所のチャージングポイント設置など)
- 公正な移行基金
(75億ユーロから400億ユーロに積み増し)

返済のための財源

- ETSのオークション収入
- 国境炭素調整メカニズム

※この他にも、民間投資の促進の文脈でサステナブルファイナンス、タクソミーに言及

【参考】日EU首脳 共同報道発表

5月26日、安倍総理とEU2首脳（フォンデアライエン委員長、ミシェル議長）がテレビ会議を実施、会議後に共同報道発表

6. 三首脳は、アジェンダ2030、持続可能な開発目標（SDGs）及びパリ協定に沿って堅実な経済復興とより持続可能で、包括的で強靱な経済の構築を確実とするための決意を強調しました。**脱炭素化／グリーン・トランジション**、デジタル変革及び**環境と成長の好循環**は復興戦略の一部となります。

6. The leaders stressed their determination to ensure a robust economic recovery and rebuild more sustainable, inclusive and resilient economies, in keeping with the Agenda 2030, the Sustainable Development Goals and the Paris Agreement. **Decarbonization / green transition**, digital transformation, and **the virtuous cycle of environment and growth, will be a part of the recovery strategy.**

外務省、日EU首脳テレビ会議の開催、令和2年5月26日
https://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ep/page4_005157.html

欧州理事会の合意

7月21日、欧州理事会はMFF2021-2027および復興基金に合意

- 当初の会期（2日間）を2日延長して合意に漕ぎつけた
- MFF2021-2027は、総額1兆743億ユーロ（5月時点の案から微減）
- 復興基金は、総額7500億ユーロは欧州委員会の原案から変わらないが、補助金と融資の割合が変更
 - 補助金3900億ユーロ、融資3600億ユーロ（原案は5000／2500）
 - オランダをはじめとする財政規律を重視する国々が強く主張
- 両者ともに「**少なくとも30%**」を気候変動関連にあてる
 - 公正な移行基金は175億ユーロで決着（NGEUから100億ユーロ）

今後の流れ

- 欧州議会の同意を得て、EU理事会においてMFFを定める規則を採択
- プログラムや基金ごとに、執行の条件や手続き等を定める規則を採択

今後の注目点

短期

- 欧州グリーンディールとの関係
 - 個々のプログラムや基金における分配の仕組み（条件、基準など）

中長期

- 「少なくとも30%」の達成見通し
- 調達した資金の返済方法
 - 欧州グリーンディールとの関係では、特にETSのオークション収入、国境炭素調整メカニズムの検討

参考文献

堀尾健太、コロナ後に目指す「グリーンリカバリー」 EU、経済復興で気候変動に重点、日経ESG（6月8日付ニュース、7月号本誌）／日経ビジネスオンライン（6月10日付）、2020年6月
<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/news/00081/>

堀尾健太、EUの政策における気候変動対策の主流化—欧州グリーン・ディールに至る政策的潮流の分析、電力中央研究所研究報告書Y19004、2020年3月
<https://criepi.denken.or.jp/jp/kenkikaku/report/detail/Y19004.html>

堀尾健太、EUの気候変動政策と2019年の政治過程—欧州議会選挙と首脳人事からの示唆—、電力中央研究所社会経済研究所SERC Discussion Paper 19001、2019年8月
<https://criepi.denken.or.jp/jp/serc/discussion/19001.html>